

新しい気象衛星「ひまわり8号」

ひまわり8号 7月7日から新しい気象衛星に交代します!

ひまわり8号・9号想像図

今後、ひまわり6号・7号(現在観測中)の2機体制から、8号・9号(来年打ち上げ予定)の体制にバトンタッチします。



7月7日から新しい気象衛星「ひまわり8号」が撮影した雲の画像がテレビに登場します。

気象衛星「ひまわり」の仕事は、宇宙から雲の写真をとることです。パワーアップした「8号」は、世界でもトップクラスの能力をもっています。

パワーアップ!

ひまわり6号・7号	ひまわり8号・9号
<p>今までより、雲がはっきりと見えるようになる!</p>	
<p>30分</p> <p>10分に1回撮影できる!</p>	<p>10分</p> <p>10分</p> <p>10分</p>
<p>カラー画像も追加される!</p>	

毎日雲を見ているといろいろな雲があらわれます。 7号の思い出

冬：筋状の雲

2015年1月1日 正午 とても寒いときの画像。日本海や東シナ海では線をひいたような雲の列が見えます。

夏：大雨をふらせる積乱雲

2014年7月21日 午後2時 大雨をふらせる積乱雲を宇宙から見た画像。九州・山口県には、白い雲が広がっています(図の丸)。

「ひまわり7号」による日々の観測の中から、春夏秋冬の特徴ある画像とともに、最後の一年をふりかえります。

春：春のあらし

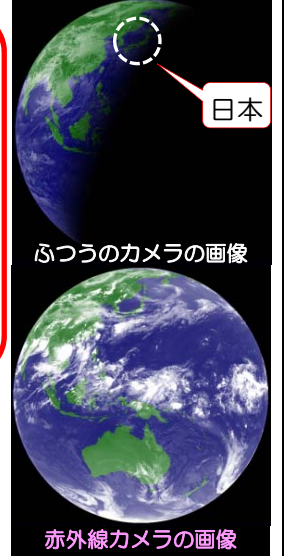
2015年4月14日 午後11時 九州北部を雲の渦(低気圧)が通過している画像。この後、福岡では「ひょう」がふりました。

秋：台風

2014年10月10日 午後6時 台風第19号が日本に近づいている画像。台風の目がはっきり見えています。

ひまわり7号、今までありがとう! おつかれさま!

6月23日19時、日本付近はもう暗くなっている。でも、赤外線を利用して夜も画像を見ることができているのだ!



- ひまわりのすごいところ**
- 24時間・365日休みなく画像を撮影している。
 - 海の上にある台風の場所や強さがわかる。・火山灰や黄砂の動きも見ることができる。
 - 日本だけではなく、世界の国々の天気予報に役立っている。

世界の気象衛星

ひまわりの担当は、東アジア・西太平洋の観測だよ!

天気を予報するには、今現在の正確な天気を知ることが重要です。赤道上空の約36,000kmには、世界各国の気象衛星があって、地球をとり囲むようにして観測をおこなっています。

気象情報へのアクセス

パソコン・スマホから

ひまわり 観測 検索

はれるん通信 検索